



北解1 外観現況（東より見る）



北解2 大屋根現況（南西より見る）
平成応急修理によるトタン葺



北解3 2階窓庇（東側）現況



北解4 1階南面庇現況
全て後補材。戦後以降の素木造・トタン葺



北解5 大屋根下地状況（南東より見る）



北解6 大屋根野地板状況（南西より見る）
全て当初材。化粧屋根裏のため小舞野地ではなくバタ野地が採用されている。



北解7 2階窓庇解体状況



北解8 大屋根軒樋受け金具状況
当初の軒樋受け金具が全て残存していた。
（首直角式）



北解9 大屋根軒樋受け金具取付状況
垂木木口挿し



北解10 1階底改造時繕い状況（1階外壁南面西側）
際熨斗積みを撤去した窪みは砂漆喰で塗り隠した他、水切り
端部も繕っていた。



北解11 海鼠瓦解体状況
竹釘は再用するため丁寧に引き抜いた。



北解12 軒先解体トレンチ



北解13 軒廻り荒壁土解体状況



北解14 軒付トタン張り・妻壁海鼠瓦解体状況（西面）



北解15 妻壁下地状況（北東より見る）



北解16 荒壁土解体状況（南面1階底廻り）
当初腕木の抜き取り穴に新材を浅い大入としていた。



北解17 1階南面庇解体状況
素木造に変更された腕木と出桁



北解18 2階虫籠窓漆喰塗解体状況
銅線亀甲網は枳材に角釘で止め、際を塗り込める当初の納まり。



北解19 1階西室 内部壁下地状況



北解20 2階西室 内部壁下地状況



北解21 2階床組状況



北解22 2階床根太解体完了



北解23 棟木破損状況
西妻では腐朽で天秤梁が脱落し、棟木は掛りを失っていた。



北解24 東面板壁解体完了



北解25 西面土壁解体完了



北解26 柱脚・土台の腐朽状況



北解27 1階出入口軸部・楣納まり



北解28 野地板解体状況



北解29 垂木解体後小屋組



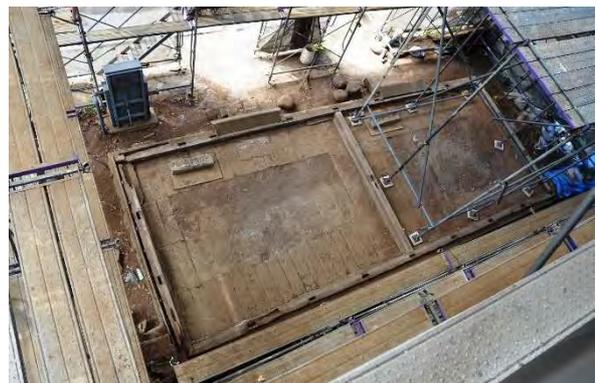
北解30 小屋組解体完了



北解31 腰板張格子戸南面（左）及び北面（右）
西室のみ残存



北解32 裏白戸漆喰塗下地状況（左）及び北面（右）



北解33 軸部解体完了



北解34 北面石垣状況
北面は基礎布石を石垣にひかりつけて据えていたが、圧縮で天端が下がり建物の傾斜を招いていた。



北解35 基壇状況（南西隅）
壁石を受ける根石は地表面に近い位置で据えられていた。



北解36 基壇詳細状況
壁石（安山岩）は鑿切りによる江戸切りで、胴部瘤出し割肌仕上げとして松城家に多用される形態。



北解37 基壇布石解体状況
壁石は間地石状に加工され、尻の上下に飼石を入れて据付調整されていた。



北解38 基壇布石解体完了



北解39 基壇断面状況



北解40 基壇敷石及び壁石解体完了



北解41 基壇内部詰込土解体完了
北辺付近は基壇石組・中詰土とも手をつけない保存区とした。



北組1 基壇壁石組立状況



北組2 基壇敷石破損状況



北組3 基壇敷石割れ補修状況
全ネジ型ステンレスダボピンとエポキシ樹脂により接着を行った。



北組4 基壇敷石割れ補修状況
十分硬化するまでバックルベルトで締め付けた。



北組5 基壇敷石肉盛り補修前



北組6 基壇敷石肉盛り補修完了



北組7 基壇布石アンカー設置状況
ステンレス製、土台緊結用



北組8 基壇内部詰込土 土木シート縁切り状況
新規やり替え部分と保存区を絶縁した。



北組9 基壇復旧完了（南より見る）



北組10 内部土間叩き施工状況



北組11 左官土練り直し状況
古土に新規土を混ぜて再利用した。



北組12 補足木材検査状況



北組13 柱補修状況



北組14 軸部組立完了



北組15 2階根太組立完了



北組16 小屋組組立完了



北組17 垂木組立完了



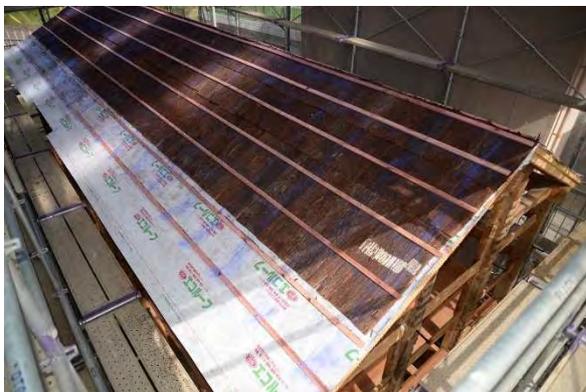
北組18 野地板組立完了



北組19 妻壁下地取付状況



北組20 2階軸部・野地組立完了内観



北組21 大屋根下地完了



北組22 大屋根軒樋受金具取付状況

樋受金具（鍛鉄製）は古材の赤錆をケレンし、欠損部の肉盛補修の上、黒色防錆塗装を行った。



北組23 大屋根軒唐草取付状況

軒先では防水紙を杉皮土居葺の上に出して軒唐草と二の平瓦取り合い隙間から排水できるようにした。



北組24 大屋根椽瓦平葺完了



北組25 大棟目地漆喰施工状況



北組26 大屋根施工完了
他棟通じて大屋根平葺の棒漆喰は維持管理を考慮して復旧しなかった。



北組27 大棟東 鬼瓦・鬼台・ハナブカ・影盛施工完了



北組28 2階窓庇棧瓦葺及び棒漆喰施工完了
他棟通じて小規模窓庇平葺の棒漆喰は復旧した。



北組29 2階木舞掻き（間渡丸竹）状況



北組30 2階木舞掻き（ツタ掛け割竹・縄絡・下縄）状況



北組31 1階木舞掻き（間渡丸竹）状況



北組32 1階木舞掻き（ツタ掛け割竹・縄絡・下縄）状況



北組33 軒付下地施工状況



北組34 南面1階庇持ち送り 木下地荒らし処理



北組35 2階間仕切り木舞掻き完了



北組36 軒付荒打ち状況



北組37 蟻羽荒打ち状況



北組38 拌み亀裂防止欄縄繊維埋め込み状況



北組39 外壁荒壁付状況



北組40 外壁斑直し状況



北組41 外壁中塗り施工状況
在来に倣い、各塗り層でまめに縄を下げた。



北組42 海鼠瓦取付用竹釘製作状況



北組43 海鼠瓦取付（竹釘打ち）状況



北組44 海鼠目地施工状況



北組45 内部中塗り仕上げ施工状況



北組46 外壁上塗り施工状況



北組47 2階窓庇揚げ裏下地補強状況
食付用鋸目入り木下地を再用する箇所では付着性が落ちるため、縄巻やヒゲコなどを補加した。



北組48 南面1階庇揚げ裏下塗り状況
新たに復原する箇所の揚げ塗り箇所でも下地に鋸目を入れた上で下苧など併用した。



北組49 2階南面虫籠窓下塗り状況



北組50 2階床板取付状況



北組51 2階西室棚設置完了



北組52 2階東室棚設置完了



北組53 建具復旧完了



北組54 土戸下地補強完了



北組55 土戸中塗り状況



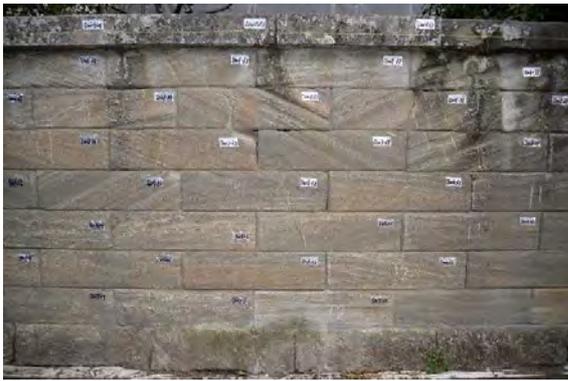
北組56 土戸上塗り状況



北組57 海鼠壁施工完了
(北面)



北組58 海鼠壁施工完了 (西面及び南面)



石解1 解体番付貼り (南塀西半、南より見る)
解体前にアルミテープで番付を貼り、解体中に石材小口など見え隠れ面に水性ペンキで書き直した。



石解2 南塀西半 笠石解体状況



石解3 南塀西半 笠石据付状況
当初の砂漆喰据え



石解4 南塀西半 壁石据付状況
当初の砂漆喰据え



石解5 南塀西半 壁石・門柱錠取り付き状況
コーナー付近では開き止めに鉄錠が打ち込まれ、さらに門柱取合いでは手違い錠が打たれていた。



石解6 南塀西半 壁石解体完了



石解7 南塀西半 基礎石 (上段) 据付状況
基礎石は2材抱合せに立て、要所開き止め錠打ち、接着面には砂漆喰が充填されていたが、大部分は溶け流れていた。



石解8 南塀西半 基礎石（上段）解体完了
基礎石は上下2段とも2材抱合せ。



石解9 南塀東半 笠石上端現況



石解10 南塀東半 基礎石を残し解体完了



石解11 西塀現況（西外部より見る）
北半は平成台風被害の応急修理時に、壁石1段分低く積まれた。



石解12 西塀壁石解体状況
鉄製錠は大部分で腐食して効いていない状態であった。



石解13 鉄製錠詳細



石解14 西塀壁石解体完了



石解15 西塀庭側中央石積台
小型鎮守社でも載せていたと思われるが詳細不明。今回は落ちかけた石のみ取り外して存置した。



石解16 庭塀解体用支保工設置完了
アーチ迫石には現寸記録を兼ねて、解体・組立用枠組を作製した。



石解17 庭塀基礎石（上段）
2石抱合せは他と共通だが式台と取合う区間は精密な据え方がなされていた。



石解18 庭塀石柱短柄



石解19 庭塀基礎石（上段）解体完了



石解20 北塀現況（北西より見る）
石垣の不同沈下や孕み出しの影響で北塀の乱れが最も大きい。



石解21 北塀工事足場（宅地内より見る）



石解22 北塀壁石解体完了
石垣には外上角の乱れが出ていたが、側溝部分がコンクリートで固められるなど安定しており、部分的な調整以外は存置した。



石解23 北塀基礎石（上段）解体完了



石解24 門柱肘坪金具取り外し完了
東側門柱に残っていた扉吊りの肘坪金具は資料保管とした。



石解25 正門現況（南より見る）
木戸構えは昭和のもの



石解26 門扉現況（北西より見る）
門柱用のRC控えと木戸構え用の頬杖が補強で入れられていた。



石解27 後補（終戦前後）石塀（北西より見る）
西土蔵跡に積まれた石塀。当初石塀より小振りな凝灰岩切石を用いセメント積みとされていた。



石解28 後補石塀解体状況（庭側より西辺を見る）



石解29 後補石塀北辺控壁
既製品の鉄筋アンカーをさらに曲げて手違錠状にして用いていた。



石解30 後補石垣現況（西より見る）
終戦頃、東土蔵-醤油蔵間にあった石塀を撤去、醤油蔵移築の跡地に積まれたもの。



石解31 後補石垣解体状況



石解32 井戸屋根現況
当初から存在したとみられるが、現状のものは昭和以降の部材。



石組1 壁石補足石材加工状況
外部側など主要な化粧面は当初に倣い、サシバ叩きで仕上げた。



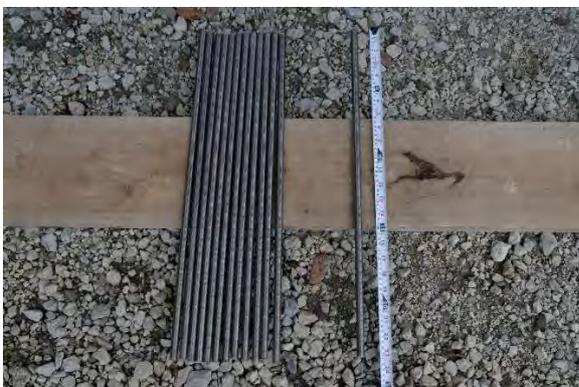
石組2 壁石補足石材加工状況



石組3 笠石補足石材加工状況
見え隠れ面や主要でない箇所では、古材の風化調に近付け荒ピシヤンで仕上げた。



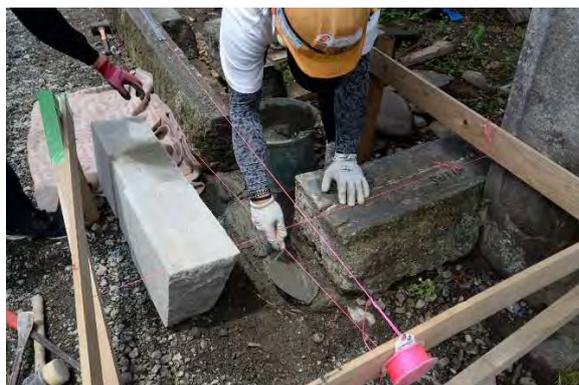
石組4 笠石補足石材加工状況



石組5 基礎アンカー詳細
全ネジ型後施工アンカー、φ16、定着300以上



石組6 基礎アンカー設置状況



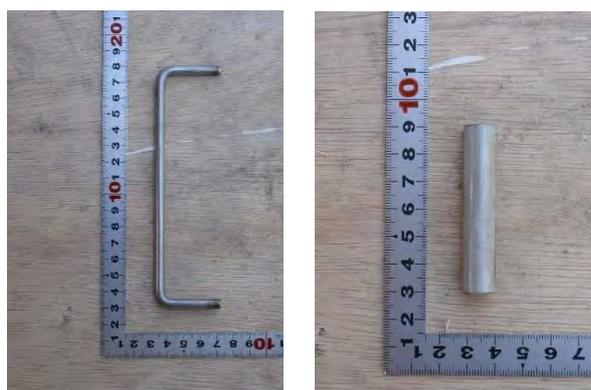
石組7 南塀（西半）基礎石据付状況



石組8 南塀（西半）基礎石据付調整状況



石組9 南塀（西半）基礎石（上段）錠設置状況



石組10 補強用錠（左）とステンレスダボ（右）詳細
当初の鉄製錠は殆どが錆びて腐食していたため、今回用いる錠はステンレス製とした。



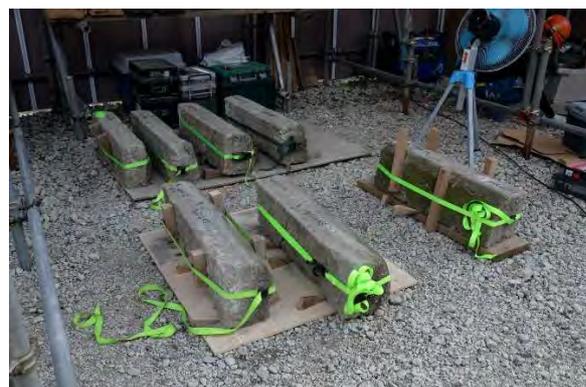
石組11 南塀（西半）基礎石（上段）組立完了



石組12 壁石接着補修状況
北土蔵基礎石と同様の補修を行った。



石組13 壁石接着補修状況



石組14 壁石接着補修状況



石組15 南塀（西半）壁石据付状況
今回の据付用砂漆喰には溶出しにくいよう固化剤（ハイフレックス）を混ぜた。



石組16 南塀（西半）補足壁石天端調整状況



石組17 西塀壁石据付状況



石組18 南塀（西半）壁石構造補強用プレート設置完了
斜め支柱と繋ぐステンレスプレートを組積の段階で挿入した。



石組19 南塀（西半）、庭塀取合い構造補強用プレート設置完了



石組20 庭塀一式台柱繫結用プレート設置完了



石組21 庭塀アーチ迫石組立状況
中央要石及びその両脇迫石を除き、補強のステンレスダボを挿入した。



石組22 庭塀アーチ要石組立状況



石組23 北塀基礎石（下段）据え直し状況
石垣とそれと取合う下段基礎石は存置し、それより上部構造で積み方を正した。



石組24 北塀壁石据付状況



石組25 壁石肉盛り補修状況
強度用と耐候用の樹脂モルタルを使い分けた擬石モルタル補修。



石組26 接着補修 擬石モルタル擦り込み状況



石組27 壁石肉盛り補修状況（下塗り）



石組28 門柱補強プレート設置完了
門柱は転倒防止用に掴み金具を上から落とし、支柱と繋いだ。



石組29 門柱肉盛り補修状況1
下付け



石組30 門柱肉盛り補修状況2
整形



石組31 門柱肉盛り補修状況3
色調整



石組32 石塀支柱用耐圧盤配筋状況



石組33 石塀支柱用耐圧盤コンクリート打設完了
石塀転倒防止としてカウンターウェイトのRCベースを地中に埋め込んだ。



石組34 石塀構造補強用支柱設置状況



石組35 石塀構造補強用支柱設置完了



石組36 門扉及び門柱構造補強用支柱設置完了
復原した扉の荷重を受ける鉄骨支柱を別に設け、門柱に荷がかからないようにした。



石組37 庭塀扉設置完了



石組38 北塀構造補強用支柱設置完了



石組39 東塀構造補強用支柱設置完了
東塀は全て新材による復原。同様に構造補強を行った。



石組40 東塀組立完了（外部より見る）
手前は移築された醤油蔵位置に今回整備した東板塀



石組41 石垣モルタル補強状況
当初石垣部分は、手を加えない保存区を設けた上で、隙間にモルタルを充填し崩落防止措置を行った。



石組42 東板塀耐圧盤設置完了
地震ではなく風圧用に必要



石組43 東板塀東石及びアンカー設置完了



石組44 東板塀施工完了
醤油蔵跡地東辺に整備



石組45 北西板塀施工完了
西土蔵跡地西北辺に整備。右は別途活用事業で設けたスロープ。



石組46 北西木戸復旧完了（西面（左）及び東面（右））
当初野地板には棧瓦葺の痕跡があったが、今回の修理では現状修理とした。



石組47 南東木戸復旧完了
当初の可能性のある部材は一部しかなく詳細不明。今回の修理では現状修理とした。